ちょっと挑戦

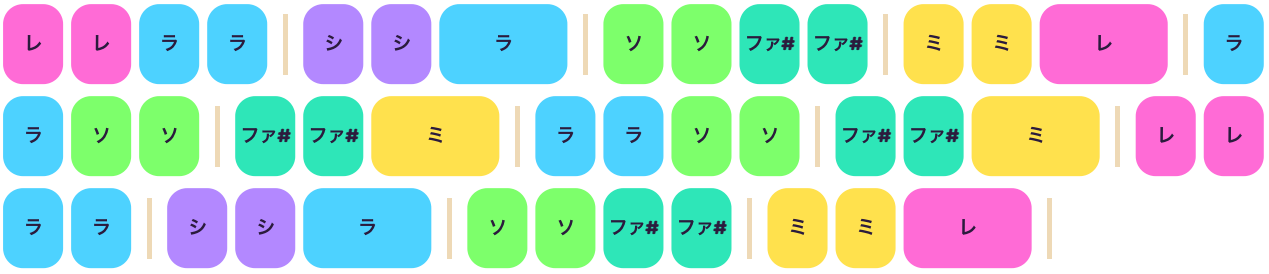
リコーダーで「きらきら星」を吹こう

Twinkle Twinkle Little Star

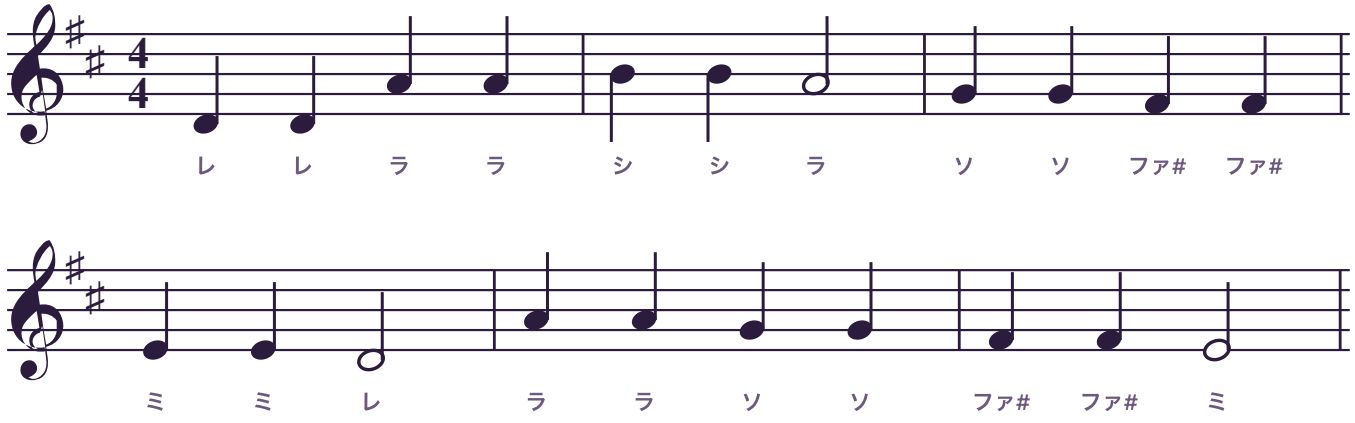
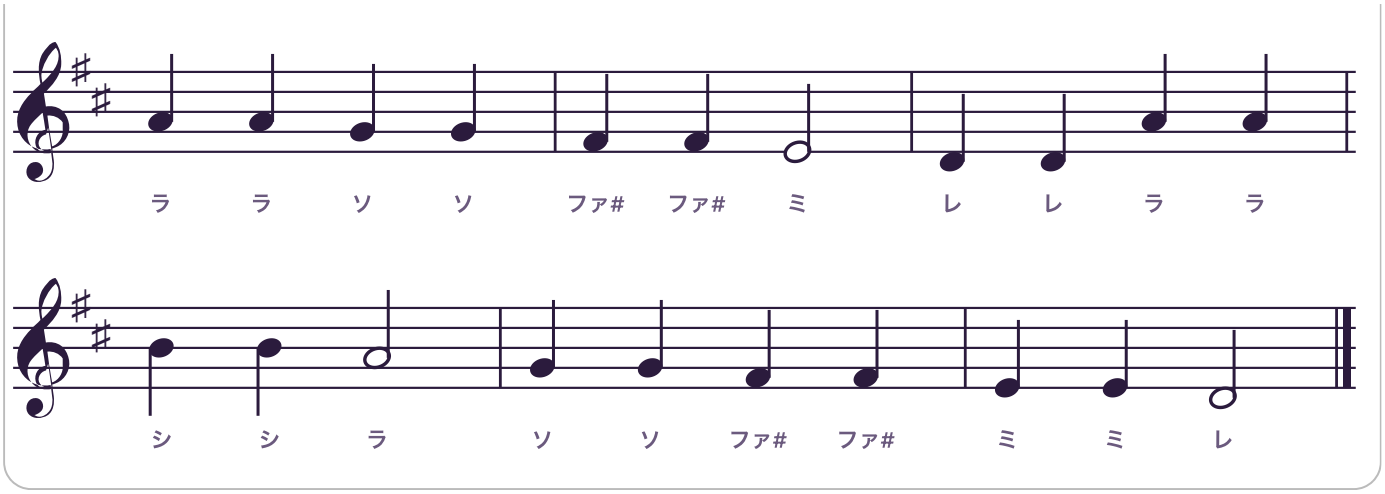
リコーダー「きらきら星」のドレミ楽譜。音ごとの運指つき。

「きらきら星」は、モーツァルトが変奏曲を作ったフランスの歌「ああ、お母さん聞いて」のメロディーです。ラからレへ、音階を下りていきます。 使う音は6つ：低いレ・低いミ・ファ#・ソ・ラ・シ。下に、リズムつきの音と、それぞれの運指があります。

音



長いブロックほど長い音です。線は小節の区切りです。

五線譜



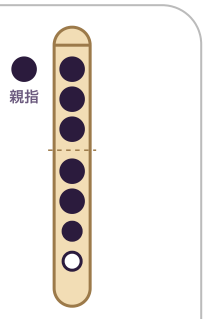
同じ曲を五線譜で。下に音の名前があります。

ドレミで書いた音

レ レ ラ ラ シ シ ラ ソ ソ ファ# ファ# ミ ミ レ ラ ラ
ソ ソ ファ# ファ# ミ ラ ラ ソ ソ ファ# ファ# ミ レ レ ラ
ラ シ シ ラ ソ ソ ファ# ファ# ミ ミ レ

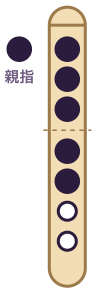
ソプラノリコーダー用です。

運指



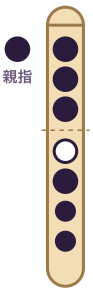
低いレ

親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5・6番の穴をふさぐ



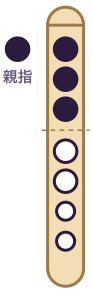
低いミ

親指の穴をふさぐ、1・2・3・4・5番の穴をふさぐ



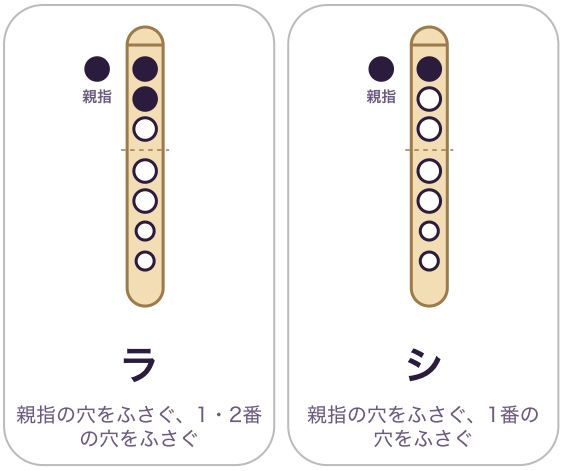
ファ#

親指の穴をふさぐ、1・2・3・5・6・7番の穴をふさぐ



ソ

親指の穴をふさぐ、1・2・3番の穴をふさぐ



「再生」をタップすると音が聞けます。カードをタップすると吹き方が見られます。黒い穴はふさぎます。左手が上（親指は裏、1〜3番の穴）、右手が下（4〜7番の穴）です。

コツ

- 1つの音ごとに「トゥ」と舌をつかって吹きましょう（タンギング）。同じ音が続いても、1つずつはっきり聞こえます。
- スープをさますように、やさしく息を入れましょう。強すぎると、ピーッと1オクターブ上の音になります。
- 指先ではなく、指のはら（やわらかいところ）で穴をふさぎましょう。すき間から息がもれません。
- 低いレはいちばんやさしい息で、すべての穴をしっかりふさぎます。ピーッと鳴ったら、まず下のほうの指を確かめましょう。
- ジャーマン式のリコーダーでは、ファ#は親指と1・2・3・5・6・7番の穴をふさぎ、4番をあけて吹きます。